

// 給食システムの説明原稿（話す用）

次に、給食のシステムについて説明します。

給食当番は、前期と後期で入れ替えます。

つまり、一年間で2種類の当番を経験してもらいます。

いろいろな役割を経験することで、クラス全体の流れも自然と見えるようになります。

まず、給食の時間についてです。

給食の時間は、当番以外の人は席について静かに待ちましょう。

立ち歩いたり、騒いだりすると、配膳がスムーズに進みません。

当番の人が集中して仕事をしやすい環境を、みんなでつくるのが大切です。

当番の人は、できるだけ早く準備ができるように動いてください。

目安は――

👉 授業が終わって 5分以内 に配膳室へ出発することです。

給食委員の人たちは、すでに配膳室で準備を進めてくれています。

早く取りに行けば、それだけ早く給食が始められ、みんなの時間を大事にできます。

給食を配るときは、

まず全員に一度行き渡るように配ります。

もし、「多いな」と思ったら、自分の分は少し減らしてもかまいません。

そのあと、**おかわりを希望する人**が手を挙げてください。

おかわりは、**平等になるように均等に分けます**。

もし、固形のもので割り切れない場合は――

👉 じゃんけんで決めます。

また、おかわりは**一人一種類**です。

一番ほしいと思うおかずを選んでください。

ただし、もし余りが出た場合は、何度おかわりしてもOKです。

みんなで感謝の気持ちをもって、おいしくいただきましょう 🍴

給食を食べ終わったあとは、

教室の外には出ず、席に座って静かに過ごします。

ほかの人がまだ食べているときに騒いしまうと、落ち着いて食べられなくなってしまいます。

みんなで気持ちよく食べられる時間にしましょう。

給食の時間は、クラス全員で協力する時間です。

当番がいて、委員がいて、待つ人がいる――

それぞれの役割があるからこそ、スムーズに進みます。

一人ひとりが自分の役割を果たして、

あたたかくて、気持ちのいい給食時間をつくっていきましょう😊